

## 令和3年定例会9月会議一般質問

No. 1		
10番	篠崎 聡 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 敬老会について	<p>今年も敬老会の式典を中止し、町からの記念品をまちづくり協会、行政区の役員を通して配布するということになりました。今年は式典と記念品配布だけなら実施可能と思うのですがなぜ中止の判断をしたのか次の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 敬老会参加対象者は77歳以上とのことですが、77歳以上のワクチン2回接種率は何パーセントですか。</li> <li>2) 式典だけならワクチン接種が2回終了していればマスク着用や手指消毒等の感染対策をすれば出来ると思えますがいかがですか。</li> <li>3) 敬老会中止にあたり各まちづくり協会、行政区の意向は確認されていますか。</li> <li>4) 行政区の役員が記念品を配布するにあたっての手間や新型コロナに感染するリスクは考えましたか。</li> <li>5) 今までのような敬老会はいつぐらいから可能になると考えられますか。</li> </ol>	
2 社協アンケートについて	<p>保健福祉課から社会福祉協議会が無作為に選んだ1400人選ばれてアンケートが届きました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 無作為に選んだ1400人とありますが統計学上のサンプル数など何か根拠があったのですか。</li> <li>2) 三春町地域福祉計画・地域福祉活動計画のアンケート調査ということですがアンケートの内容を見ると総務課自治防災グループや企画政策課に関わる質問がありました。アンケート結果の情報共有はされますか。</li> </ol>	

## 令和3年定例会9月会議一般質問

No. 2		
12番	橋本善一郎 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 学校教育の手話教育導入について	<p>今後益々多様性が求められる現代社会。バリアフリー化の必要性が増す中、学校教育においてもその必要性があると思います。自分たちの身の回りには、様々な立場の方が多く生活していることに気づき、自分自身の在り方、生き方を見つめ、誰もが幸せな生活ができる社会の大切さ、その実現のためにも学校教育の中に短時間でも手話教育は必要だと思っておりますので、次の2点について質問いたします。</p> <p>1) 今後、学校教育の中に手話の授業を取り入れていく考えはあるのか。</p> <p>2) 多様性のある社会実現の為、今後どのような障がい者教育を考えているのかお伺いいたします。</p>	
2 コロナ禍の学校教育について	<p>デルタ株によりコロナ感染が広がる中、ワクチン接種が12歳以上であることにより、特に小学生への感染が懸念され長期休業も考えられ、また希望者には教室での授業と並行して在宅でのオンライン授業を試みている学校もあります。</p> <p>1) コロナが長期化する中、在宅でのオンラインを使った授業の考えはありますか。</p>	
3 中郷おでかけ応援隊について	<p>中郷まちづくり協会が主体となり、おでかけ応援隊が運営され、地元高齢者から通院等に大変助かるとの声が多く寄せられており、運営協力されている方々には厚く御礼感謝申し上げます。</p> <p>今後、少子高齢化により人口減少が進む中、需要はますます増えるのではと考えますので、以下の質問を行います。</p> <p>1) 町においては今後中郷以外の地域にも導入する考えはあるのかお伺いいたします。</p> <p>2) 利用者の増加に伴う、民間業者の調整を今後どのように図っていく考えがあるのかお伺いいたします。</p> <p>3) 高齢者以外の生活弱者世帯等にも、通院時の活用を認めることはできますかお伺いいたします。</p>	

## 令和3年定例会9月会議一般質問

No. 3		備 考
4 番	新 田 信 二 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 有事の際の避難と行動について	<p>大雨、長雨による土砂災害が今年も含め数年続いています。今まで長く住んでいた地域での土砂災害は特に被害も大きく尊い命、家財までも失われています。町では7月、8月の大雨時に警戒レベル、避難のタイミング等の注意喚起を防災無線から呼び掛けました。また、急傾斜地と土石流地域のハザードマップを作成し、警戒区域や特別警戒区域を指定しており、特に旧町、沢石地区、岩江地区については、土砂災害危険箇所が多いため、避難所も指定しています。</p> <p>そこで、現在の町の広域指定避難所の利用状況と課題について伺います。</p>	
2 田村郡の広域連携事業について	<p>現在、こおりやま広域連携中枢都市計画で合意した16市町村が新たな都市づくりを目指し取り組みを実施しています。</p> <p>郡山市、本宮市、田村市に囲まれた三春町は立地条件に恵まれています。行政区分として田村市、小野町との共存共栄の取り組みが今後も不可欠であり、現在も、警察署、消防署、医師会、介護福祉、環境衛生等での連携により1市2町の安全・安心な生活が維持されているところです。</p> <p>今後、さらに強化すべき事業、または支援すべき事業等について伺います。</p>	•

## 令和3年定例会9月会議一般質問

No.4		
14番	陰山丈夫議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 消防団員の処遇等について	<p>4月13日に消防庁長官名で各地方公共団体宛に発出された「消防団員の処遇等に関する検討会」の中間報告取りまとめ5点について町の考えを尋ねます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消防団員の処遇改善（報酬基準引き上げ）</li> <li>2) 住民の入団促進</li> <li>3) 消防団に対する理解の促進</li> <li>4) 平時の消防団活動の在り方</li> <li>5) 装備等の充実</li> </ol>	
2 子宮頸癌ワクチン（HPV）接種はどうなっているのか	<p>国は、2013（平成25）年4月より小学6年から高校1年に当たる女子を対象に、公費による原則無料の定期接種を始めました。しかし、接種後に副反応（痛みけいれん）の報告が相次ぎ接種の積極的勧奨を同年6月に中止しました。最近の新聞報道で子宮頸癌ワクチン接種に積極的に取り組みをしている自治体があり、罹患者減につながる可能性に注目との記事が掲載されていました。またラジオ放送では、海外との比較した日本の接種率と罹患者率等について報じていました。そこで次の6点についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 定期接種の対象者にはどのような形で周知しているのか。</li> <li>2) 接種対象者からの問い合わせはあるのか。</li> <li>3) 対象者で接種した人がいたのか。</li> <li>4) 接種後に副反応が現れた人がいたのか。</li> <li>5) 医療機関との連携構築について。</li> <li>6) 勧奨する上での課題は何か。</li> </ol>	

## 令和3年定例会9月会議一般質問

No.5		
8 番	三 瓶 文 博 議 員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 住宅政策について	1) 新たな宅地造成について、町はどのような計画をもっているのか。 2) 計画があるのであれば、その宅地の価格設定については、町はどのように考えているのか。	
2 滝桜国指定天然記念物100周年に向けて	1) 町は、この100周年記念に向けてどのような計画を持っているのか。	